Danelectro®

REEL ECHO™ DTE-1 取扱説明書

この度は商品のお買い上げありがとうございます。
今日からあなたも”テープエコートーン”の深い温かみと個性を楽しめるエリートミュージシャンの仲間入りです。
磁気テープのメンテナンスに悩まされる事ももうありません。
さぁ、始めましょう！

1. INジャックに楽器のケーブルを差し込んで下さい。(ケーブルがINジャックに差し込まれた時点でバッテリー電源が作動します)

2. OUTジャックにアンプケーブルを差し込んで下さい。2台目のアンプ、またはステレオアプリケーションを使用する際はSTREO OUT (DRY)ジャックにケーブルを差し込んで下さい。

3. ACアダプターを使用の場合、DC 9-volt ジャックに差し込んで下さい。電池を使う場合は9Vバッテリーを製品本体の底部にあるバッテリーボックスに入れて下さい。

■操作機能＆特徴

ECHO フットスイッチ:
このスイッチはREEL ECHOのオン／オフに使用します。フットスイッチ稼動中はTEMPO“ジュエル”ランプが点灯します。(SPEED RANGEコントロールで選択されたタイムでTEMPOランプが点滅します)

SOUND ON SOUND フットスイッチ:
**このスイッチはSOUND ON SOUNDのオン／オフに使用します。SOUND ON SOUND機能はたくさんのテープエコー機器に搭載されてきました。
この機能は、最大1.5秒に及ぶ録音が可能です。
使い方は、まずREPEATSノブを最大にし、SPEED RANGE、その他を任意に設定します。Echoスイッチを踏めば録音スタートです。録音した音に満足したら、SOUND ON SOUNDフットスイッチを踏みましょう。
録音が終了し、ループ音が残ります。本製品DTE-1が発するループに合わせて演奏する事ができます。S.O.S.“ジュエル”ランプはSOUND ON SOUNDフットスイッチが稼動中に点灯します。
※SOUND ON SOUND稼動時は、ギターからの信号にディレイはかかりません。**

MIX:
原音とエフェクト(ディレイ)音をミックス調整を選択する時に使用します。ツマミを最大限右に合わせるとディレイ音のみ聞こえ、最大限左に合わせると原音のみ聞こえます。12時の位置に合わせる事で原音とディレイ音の両方が均等にミックスされます。

LO-FI:
この機能はビンテージ特有の音や温かみをプラスします。ツマミを回す事でディレイ音の高域を調整する事ができます。そのディレイ音は繰り返される度に高域が減っていきます。

REPEATS:
**リピート数を調整できます 。(1から無限)
※サウンドオンサウンドではこのREPEATをフルにします。(100% 右に)
これにより無限リピートになり、1.5秒のループの録音ができます。**

TONE: (ソリッドステート/真空管)
2種類のビンテージテープエコーがかつてありました。真空管でデザインされているものもあり、ソリッドステートで構成されているものもありました。(我々はどちらも好きですが！) このスイッチを使ってソリッドステート/真空管のトーンキャラクターを選択できます。

WARBLE:
**ビンテージテープマシンは単なるエコーだけではなく更なる深みを加えています。元来、モーター駆動のテープマシンは完璧なものではありませんでした。
モーターが速くなったり、遅くなったり、テープが伸びたりしました。それによって"WARBLE" (震え)効果がディレイ音に独特のモジュレーション効果を与えていました。
WARBLEスイッチを入れればあなたの音は別次元へ誘われる事でしょう。**

SPEED RANGE: (ディレイタイム)
**スライダーコントロールを使ってスピードレンジ(ディレイタイム)を調整できます。
スピードレンジは0から1500ミリsec.です・・・分かりやすく言うと0〜1.5秒です！**

**※ステレオ機能※
(スレテオアウトジャック使用時) にはMIXコントロールを100%右に合わせます。これによりディレイ音はMAIN OUTへ、原音はSTREO OUT (DRY)ジャックへ送られます。(この時の音は超ワイドです！)**

楽しんでお使い下さい！

**■仕様
電池:9V乾電池 (S006P/6F22)
Danelectroの"Vintage Power Source"を推奨します。
・外部電源: +⊖−9V
ノイズ混入を防ぐため必ずレギュレーターを内蔵したACアダプター又はパワーサプライをお使い下さい。**